

第九十回
帝國議會
貴族院

復興金融庫法案特別委員會議事速記録第三號

付託議案

○復興金融庫法案

昭和二十一年九月二十七日(金曜日)
午後一時三十分開會

○委員長(齋藤實) 是ヨリ會議ヲ開キマス、實ハ昨日デ本法案ニ對シマスル質問ハ打切りマシテ、本日ハ討論ニ入ツテ採決ヲスル順序ニナツテ居リマシタ處ガ、板谷君ヨリ石炭廳ニ對スル御質問ヲ是非シタイト云フ御希望ガアリマシタノデ、御諮リ致シマスガ、之ヲ御許シシテ如何デゴサイマスカ

○名取和作君 石炭ハ重大ナコトデアリマスカラ一ツ十分ニ御質問願ツタ方ガ宜シト思ヒマス

○板谷順助君 諸君ノ御許ヲ得マシテ、私ハ石炭廳ノ政府委員ニ御伺ヒシタイ、御承知ノ通り最近復興金融庫ノ、現在代理ラシテ居リマスル興業銀行カラ二億五千萬圓ノ金ガ出テ居ルノデアリマス、此ノ金ハ要スルニ現在ノ石炭ラドウシテモ増産セバナラヌト云フ目的カラ諸君モ御承知ノ通り政府ガ補助金ヲ出ス、此ノ補助金ノ一部ト致シマシテ、「トン」八十圓ヲ各炭礦業者ニ取敢出スト云フ意味ノ金デアリマス、大體此ノ金ガ如何ナル徑路ニ依ツテ炭礦業者ニ配付サレテ居リマスカ、其ノ點ヲ先ツ御伺ヒ致シマス

○政府委員(岡松成太郎君) 只今ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、只今御尋ノ二億五千萬圓デゴサイマスルガ、此ノ配付ノ仕方ハ別段ニ石炭礦業會デ一括シテ借受ケテ配付サスルト云フ方法デハ

ゴサイマセヌデ、各鐵山ヨリ金融機關ヲ經テ各金融機關ト鐵山トノ個々ノ貸付契約ニ依ツテ借受セシメテ居ルノデゴサイマス、但シ其ノ場合ニソレノ鐵山ガ月々ニ幾許カノ出炭ヲ致シテ居ルガ、從ツテソレニ對シテ如何程ノ金融ヲ致スベキデアルカト云フコトノ材料ニ付キマシテハ是ハ石炭礦業會デ取總メマシテ、金融機關ノ方ニ連絡ヲ致シマス、金融機關ハ其ノ材料ニ基キマシテ各、石炭礦業會社ニ貸付ケルト云フ次第ニナツテ居リマス

○板谷順助君 ソレハ失禮ナガラアナタハ實情ヲ能ク御知リニナラナイ、要スルニ現在ノ石炭ヲ増産スルニ付キマシテハ、言フ迄モナク政府ガ補助金ヲ出シテ何トカシテ餘計出サシタイ、處ガ此ノ金ノ配付ニ付キマシテハ大體石炭ノ配給統制ハ御承知ノ通り日炭ガ取扱ツテ居ル、然ルニ民間ニ於ケル所ノ石炭礦業會社ト云フモノガアリマシテ、此ノ礦業會社手通ジテ炭礦業者ニ配付ニナツテ居ル、此ノ順序ニナツテ居ルニモ拘ラズ、是ハ近畿ニ於ケル出來事、其ノ中ニ近畿方面ニ於テハ百萬圓ノ金ヲ炭礦業者ニ出セ、ソレヲ借受ケテ或ハ其ノ名目ガ資材云々ニ使フト云フヤウナコトヲ言ツテ居リマス、言ツテ居リマスルケレドモ、此ノ金ト云フモノガ或程度迄横流シテ、今炭礦業者ガ非常ニ困ツテ居ツテ赤字ヲ補填スルト云フ意味ニ於テ、一日モ早ク此ノ金ヲ配付セバナラヌニモ拘ラズ、今申上ゲマスルヤウナサウ云フ非常ノ弊害ガアル、此ノ點ニ付テハアナ

タハ能ク御分リニナツテ居リマス、御分リニナリマセヌカ、御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(岡松成太郎君) 御質問ノ趣意ガ只今ノ興銀ヨリ出マシタ資金ガ炭礦以外ノ方面ニ流用サレテ居ルト云フヤウナ事實ガアルヤノ御問ニナツタヤウニ伺ヒマシタケレドモ、私共ハ左様ナコトハ聞及ンデ居リマセヌシ、又手續ノ上カラ言ツテ左様ナコトハ萬アルマイト存ジマスルガ、尙サウ云フ點ハ十分ニ取調ベタイト存ジマス

○板谷順助君 私ガ斯ウ云フ質問ヲ致シマスルノハ、要スルニ復興金融庫ハ政府ガ出資サスルノデアリマシテ、若シ政府ガ一朝誤ツテ間違ツタ出資ヲスルヤウナコトガアツテハ國民ニ多大ノ迷惑ヲ掛ケルト云フコトニナルノデ、從ツテ此ノ問題ハ現在ノ炭礦業者ガ直接私ニ來テ懇ヘタノデアリマス、處ガ此ノ石炭礦業會ナルモノガ今申上ゲマスル通り或程度ノ金ヲ押ヘテ居ツテ渡サナイ、渡サナイト云フコトハソレガドウ云フ意味ニ於テ渡サナイノカ、或ハ其ノ一部ガ横ニ流レ、本當ニ炭礦業者ノ手許ニ入ルカドウカト云フコトハ非常ニ疑問デアル、デアリマスカラ、アナタガ若シソレガ御調ニナツテ居ナイト云フコトデアリマセバ、其ノ實情ヲ至急御調査願ヒタイ、今私ガ申上ゲマスル通り、民間團體ノ礦業會ナルモノガ押ヘテ離サナイ、ドウシテモ渡サナイト云フ、斯ウ云フ事實ガアルノデアリマス、是ハアナタハ御分リニナラナイカラ、至急此ノコトヲ一

ツ御取調ニナツテ、適當ナ處置ヲ御講ジ願ヒタイ、ソレカラ此ノ日炭會社ハ御承知ノ通り現在統制會社トシテ存續シテ居ルノデアリマスルガ、此ノ石炭會社ガ石炭ノ配付ト云フコトニ付テ何カ特別ノ手段方法ヲ講ジナケレバ、思フヤウニ炭礦業者側ニ入ラナイ、是ハ事實デアリマス、デアリマスカラシテ、何トシテモ現在ノ私ハ伏魔殿トハ言ハナイケレドモ、兎ニモ角ニモ此ノ日炭會社ト云フモノハ非常ニ弊害ガアツテ、ソレガ爲ニ需要者ナルモノガ多大ノ迷惑ヲシテ居ルノデアリマスルガ、是ハ現在ノ組織ヲ至急改組ナサル其ノ御考ガアリマスカドウカ、此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(岡松成太郎君) 石炭ノ配給統制機構ニ關聯スル御質問デゴサイマスルガ、現在石炭ノ配給統制ニ當ツテ居リマスルガ、上ニ日本石炭、其ノ下ニ各地方ニ八ツノ地方石炭配給統制株式會社ト云フモノガゴザイマシテ配給ニ當ツテ居ルノデアリマス、只今御尋ノヤウナ色々弊害ノ面モアリマスルコトヲ我々モ聽イテ居リマス、又一部ノ事實ニ付キマシテハ調査ヲ致シタコトモゴザイマス、何レニセヨ現在ノ儘ノ機構ヲ以テハ圓滑ニ石炭ノ配給統制ノ機能ヲ當ムコトガ困難ト考ヘマスルノデ、是ハ至急ニ根本ノ改正ヲ致シマシテ、日本石炭ノ代リニ別ノ機構ヲ作りマシテ、又地方ノ機構等ニモソレゾレノ改善ヲ加ヘマシテ、全然面目ヲ一新致シマシテ、新シク適正ナル、又民主的ナル機構ヲ作ルベク考ヘテ居

リマス、之ニ付キマシテハ石炭配給機構改善委員會ト云フモノヲ設置致シマシテ、ソレノ關係ノアル事業者及ビ貴族兩院ノ議員又學識經驗アル第三者ト云フモノヲ委員ニ任命致シテ居リマス、來月早々ニ此ノ委員會ヲ開イテ其ノ議ニ付シマシテ、サウシテ十分ニ各方面ノ御議論ヲ伺ツテ、衆議ニ從ツテ之ヲ改正ヲ致シテ行キタイト、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

○板谷順助君 アナタハ今私ガ申上ゲマシタコトガ能ク御分リニナラヌト云フノデアリマスルガ、私ノ今差當ツテ聽キマシタノハ、近畿ニ於ケル問題、是ハ一ツ至急御取調ヲ願ヒタイ、ソレカラ又一ツ此ノ補助金ノ一部ヲ御渡シニナルニ付テ、何モ其ノ民間ノ石炭礦業會ヲ利用爲サル必要ハナイ、此ノ石炭礦業會ナルモノガ或一部ノ金ヲ押ヘテドウシテモ渡サナイ、斯ウ云フ事實ガアルノデス、是ハ能ク一ツ御取調ノ上、或ハ全國ニサウ云フ例ガ外ニナイトモ限ラヌノデアリマスルカラ御取調ヲ特ニ一ツ御願ヒシタイ、ソレカラ又今日炭ノ改組問題ニ付キマシテハ是非當ニ不公平ト云フコトハ要スルニ此ノ重要産業方面ニナクチャナラスノガ何カ特別ノ手段方法ヲ講ジナケレバソレヲ思フヤウニ配給ガ出來ナイ、是ハ非常ニ弊害ガアリマスルカラ一日モ早く之ヲ改組ナスツテ、サウシテ殊ニ石炭ト云フコトガ重要産業ノ基礎産業トナルノデアリマスルガ、此ノ點ハ十分此ノ機會ニ成ルベク早ク適當ノ處置ヲ執ラレムコトヲ希望致シマ

ス、委員長私ノ質問ハ是デ終リマス
○委員長(子爵高橋是賢君) 外ニ御質問モナイヤウデスカラ、昨日決メマシタ通り、本日ハ質問ハ是デ終ツテ後討論ニ移リタイト思ヒマス

○板谷順助君 討論ニ付キマシテハ大藏大臣ヲ呼ンデ戴キタイト思ヒマス
○委員長(子爵高橋是賢君) 大藏大臣見エルサウデス……ソレデハ討論ニ入リマス

○板谷順助君 私人本案ニ對シテ警告的希望意見ヲ述ベマシテ賛意ヲ表シマス、大體先般來大臣ノ御意見ヲ承ツテ居リマスガ、私ハ現在ノ有ラユル方面ニ整備ヲサレツ、アル此ノ現狀ニ於テハ、日本ニ於ケル金融ラシイ金融ハナイツウ考ヘテ居ルノデアリマス、處デ此ノ法案ノ先ヅ一般ノ金融機關カラ融資ヲ受ケ、出來ナイモノ、所謂困ルモノハ此ノ法案ニ依ルト云フコトデアリマスガ、先般政府委員ノ答辯ニ依リマスルト云フト、一般ノ金融機關カラ約百四十億ノ金ヲ豫定シテ居ルト云フコトデアリマス、處ガ、大臣モ御承知ノ通り現在剩餘金ガ一體幾ラアルカト申シマスルト、八月三十日ノ現在ト致シマシテ全國ニ百四十億圓アリマス、此ノ中ニ既ニ七十五億ノ貸金ガアルノデアリマス、差引六十五億、或ハ九月ニ入リマシテ相當ノ預金ガ殖エテ居ルデアリマセウ、併シナガラ是ハ大部分進駐軍ノ取引ノ預金ガ相當ニ多イト云フコトデアリマス、又更ニ大臣ハ現在ノ新聞ガ退藏サレテ居ルト云フコトヲ御認メナツテ居ルガ、一體現在六百億以上ノ新聞ガ如何ナル分布ニナツテ居ルカト言ヘバ、勿論大臣モ御承知デアリマセウガ、生活費ニ於テ四十二「パーセン

ト」戰災ノ支拂ガ十九「パーセント」俸給賃銀デ以テ二十八「パーセント」、産業方面ニ廻ツテ居ルト思ハレルノガ約十一「パーセント」、勿論是ハ推定デアリマスルケレドモ、現在ノ狀態デアリマシテ、恐ラク仕事ノ上ニ於テ困ラスト云フノ新聞ノ獲得者以外ニハナイ、新ニ仕事ヲ起スト云フ場合ニ於テハ第一、第二ノ封鎖デ支拂ハレテ居リ、又一般金融ガ更ニ多額ノ放資ヲスルト云フコトニナリマスルト云フト、日本銀行カラ幾ラデモ出サセルト云フ御話ガアツタノデアリマスガ、恐ラクハ金融業者ト雖モ、預金ガ集ツテ初メテ相當ノ貸付ガ出來得ルモノト思フ、日本銀行カラ多額ノ借入ヲシテ之ヲ現在ノ始下破綻サレツ、アルヤウナ、此ノ産業方面ニ勇氣ヲ持ツテ投資スルカドウカト云フコトハ多少疑問ヲ持タナケレバナラスト思フノデアリマス、從ツテ現在ノ新聞ノ所有者ト云フモノハ、云フ迄モナク不生産的デアリ、主ニ不生産方面ニ使ハレテ居ル、從ツテ困ル者ト申シマスルナラバ、云フ迄モナク現在我が國ノ産業界ニ於テハ有ラユル方面ガ皆困ル、恐ラクハ一般金融業者カラ金ヲ借りルカ、或ハ又此ノ金庫ヲ利用シテ金ヲ借りルカ、外ニ途ハナイツウ状態デアリマス、從ツテ大臣ハ將來見込ナル産業デアアルナラバ、國家ガ場合ニ依ツテハ、其ノ金額ヲ損シテモ他ク迄産業ノ振興ヲ圖ルト云フ、其ノ勇氣ニ對シテハ私共非常ニ敬服ヲシテ居ルノデアリマス、併シナガラ御承知ノ通り戰時中ニ於ケル所ノ戰時金融庫ノ如キモノハ所謂宜イ加減ノ出納ノ豫算ヲ作ツテ金ヲ出ス、後ノ始末ガツカナイヤウナ結果デアリマスルカラ、此ノ金額ノ融資ニ付キ

マシテハ、出來ルダケ嚴重ニ監督ヲシテ、國家ニ迷惑ノ掛ラナイヤウニ處置ヲ取ラレルノハ、是ハ當然、當然デアリマスルガ併シ又見様ニ依ツテ寛嚴宜シキヲ得マセスケレバ、此ノ金庫ノ運用ト云フモノハナカク困難ナコト思フノデアリマス、ソコデ問題ハ先ヅ第一ニ金融委員會ノ組織、私ハ昨日大臣ノ此ノ委員會ニ於ケル組織ノ構想ニ付テ大要伺ツタノデアリマスガ、併シ大物バカリ詰ベテ見タ所ガ、要スルニ形式ニ流レ、今日迄恐ラクハ民間ノ繁智ヲ集メル意味ニ於テ委員會ヲ作ラレマシテモ、唯形式ニ終ツテ、果シテ其ノ目的ヲ達スルカドウカ、從來ノ例カラ見ルト云フト、ソコニ疑問ガアル譯デアリマスルカラ、所謂民主的の意味ニ於ケル委員會ヲ御作りニナルナラバ、出來ルダケ熟練シタル所ノ練達能ノ士ヲ以テ組織スルコトニ御考ヘ願ヒタイ、從ツテ是等ノ人々ガ唯一片ノ委員デアルト云フノミナラズ、現在ノ敗戦シタル此ノ日本ヲ建テ直スト云フコトニ付キマシテハ國民御互ガ重大ノ責任ヲ持ツテ居ルコトデアリマスルカラ、此ノ委員諸君ニ於テモ其ノ責任ヲ痛感ヲシテ、此ノ金庫ノ運用ニ付キマシテ萬全ヲ期スヤウニシテ貰ヒタイ、更ニ問題ハ此ノ役員ノ問題デアアル、之ニ付キマシテハソレノ腹案モアリマセウ、恐ラクハ委員會ノ推薦ト云ツテモ結局大藏大臣ノ監督ノ下ニアルコトデアリマスルカラ、是等ノ人々ハ所謂清廉潔白デアツテ練達能、恐ラクハ此ノ役員ノ人々ノ選如何ニ依ツテ、果シテ此ノ金融庫法案ガ産業回復ノ爲ニ、復活ノ爲ニ働キヲ爲スカドウカト云フコトノ岐カレル重大ノ問題デアリマスルカラ、此ノ點ニ付テハ十

分ナ御注意ヲ御拂ヒニナツテ、而シテ此ノ人選ニ曖昧ノナイヤウニ御心掛ヲ願ヒタイ、ソコデ私ハ更ニ此ノ際大臣ニ希望致シマスルコトハ、御承知ノ通り現在ノ社會情勢ガ非常ニ不安ニナツテ居ル、從ツテ資本家ヲシテ資本家ハアリマスガ、併シ其ノ事業經營者ガ現在ノ勞働爭議ヲ非常ニ懸念ヲ致シマス、又一面ニ於テ經濟界モ不安デアルト云フヤウナ關係カラ、進ンデ事業ヲスルト云フ、所謂生産意欲ニ缺ケテ居ルト云フコトハ實際ノ事實デアリマス、又一方ニ於テ勞働者ハ權利ノミヲ主張シテ義務ヲ忘レ、勝手氣儘ナ、全部トハ中シマセスガ、サウ云フ傾向ガアルノデアリマス、若シ勞資ガ此ノ儘開ツテ、開ツテト云ツテハ語弊ガアリマスガ、爭ツテ行キマシタナラバ、共倒レトナリマシテ、結局日本ガ破滅ニ瀕スルト云フ狀態ニナル、私ハ此ノ點ニ付キマシテ、現在ノ我が國ハ之ヲ建テ直スト云フコトニ付キマシテハ、國民全部ガ殆ド勸勞大家、我々モ勸勞大家例ヘバ平時デアリマスルナラバ、八時間働イタ者ガ、九時間モ十時間モ働イテ行カケレバ、到底此ノ日本ガ追付イテ參リマセス、平時デアリマセス、此ノ點ニ付テ、現在ノ弛緩シタル所ノ人心、道義ハ廢レ、殆ド人心ガ惡化シテ居ル、之ヲ建テ直スト云フコトニ付テハ、先ヅ第一ニ國民ガ、現在ノ我が國ハ敗戦國デアアル、此ノ儘デハ到底立ツコトガ出來ナイ、世界ニ交リテ結ブト云フコトニ付テハ非常ナ決心ヲ持タナケレバナラズ、敗戦ノ苦シミト云フモノハ御互國民ガ分ケ合ハナケレバナラナイ、此ノ事ヲ私ハ先般本會議ニ於キマシテ總理大臣ニ質問シタノデアリマス、大臣ハ御出席ニナラヌノデア

リマシタケレドモ、之ヲ國民ニ徹底サセルト云フコトニ付テ、場合ニ依ツタラ國民運動、或ハ國民ヲ奮起サセル、此ノ際勞資御互ガ爭フト云フ場合デハナイト云フコトヲ徹底サセルコトニ付テ、政府ガ適當ナ此ノ際方策ヲ執ルベキモノデアアル、私ハ二度迄此ノ點ニ付テ力説シタノデアリマスガ、總理大臣明確ナ所ノ答辯ハナサイマセス、アナタハ民間ノ方面ニ非常ニ精通ヲサレテ居ルコトデアリマスカラ、ドウカ、勿論事業家側ニ於テモ、或ハ勞働者側ニ於テモ、ソレノ言ヒ分ハアリマセウガ、此ノ儘推移ヲ致シマシタナラバ、今申シマスル通り、事業家ニ於テ生産意欲ガナカツタナラバ、段々失業者ハ續出シマセウシ、今居ル者ヲ始末シテモ後カラ又起ルト云フ斯ウ云フ、狀態ニアルノデアリマスカラ、ドウカ大臣ハ、私ハ甚ダ言葉ガ過ギルカモ存ジマセスケレドモ、此ノ點ヲ十分ニ御考慮ニナリマシテ、此ノ法案ノ運用ニ付キマシテ、今申上ガマスル通り、所謂救済機關デハナイツウ云フ御言葉ハアツタケレドモ、今現在ノ産業ヲ回復スルト云フコトニ付テハ、毀レタモノヲ建テ直スト云フコトデアリマスカラ、間違ツタ奴ハ勿論成ルベク早ク良イトカ惡イトカ判斷ヲ下ス、是ハ當然デアリマスガ、ドウカ救済スルト云フ意味ニ於テ十分ナル一ツ御考慮ヲ願ヒマシテ、本案ノ運用ヲ國民ノ期待ニ副フヤウナ御働キアラムコトヲ切望致シマス、私ハ此ノ趣意ヲ述ベマシテ本案ニ賛成ヲ致シマス
○橋本辰二郎君 私モ本案ニ賛成ヲ致シマス、此ノ金融庫設立ノ目的ヲ達成スルニ於テ、其ノ運用ニ特ニ注意ヲ必要トスル點ニ付キマシテハ、只今

板谷委員ヨリ委曲詳細ニ互ツテ御説明
ニナリマシタ、此ノ上何等蛇足ヲ加フ
ルノ必要ハナイノデアリマスガ、唯私
ハ一二氣付イタ點ニ付キマシテ私ノ希
望ヲ申述ベマシテ、成ルベクナラバ其
ノ御探擇ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ
此ノ金融申込ミノ手續ハ先ヅ普通銀行
ニ申込ミ、普通銀行ニ於テ其ノ融資ニ
應ゼザル場合ニ於テハ日本銀行ニ申込
ム、而シテ日本銀行ヨリシテ之ヲ興業
銀行又ハ此ノ金融金庫ニ申込ムト、斯
クノ如キ幾多ノ關門、幾多ノ窓口ヲ通
過スルト云フコトハ非常ナル面倒ト時
ヲ要シマシテ、急場ノ必要ニハ應ジ得
ナイカモ知レナイト思フ、元來金融業
者ナルモノハ事ヲ運ブノニ必ズシモ敏
活デハナイノデアリマス、非常ニ急ヲ
入レラレル關係カモ知レマセヌケレド
モ、事ハ遲タシテ進マナイノデ、爲
ニ肝腎ノ時機ヲ逸スル處レガ十分アル
ノデアリマスガ、出來得ルナラバ金庫
直接ニ申込ミヲ受ケルト云フヤウナ途
ヲ御開キニナリマシテ、煩瑣ナル手續
ヲ省キ、サウシテ融資ノ敏速ナル
取扱ノ出來ルヤウナコトニ、一ツ
特別ノ御高配ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス、ソレカラ先程板谷
委員ヨリモ仰セニナリマシタガ、今日
最モ困ツテ居ルノハ中小商工業者デア
ルト思ヒマス、之ニ對スル融資ハ非常
ニ面倒デアリマス、面倒デアリマス
レドモ、中小商工業者ナルモノハ國ノ
中堅階層デアリマス、是ノ復興ヲ圖ル
ト云フコトハ最モ喫緊ノコトト思ヒマ
スカラ、面倒ヲ厭ハズ、此ノ金庫ハ中
小商工業者ニ對シテモ、氣持良ク融資
ヲ與ヘルト云フ特別ノ御高配ヲ願ヒタ
イノデアリマス、ソレカラ斯ウ云フ危
險ナル所ノ放資ニ付キマシテハ、投資

者側ニ於キマシテ辨濟ノ確實ヲ期スル
ガ爲ニ、其ノ申込者ノ關係者ニ向ツ
テ、例ヘバ法人ナラバ其ノ取締役ノ全
部ノ個人保證ヲ要求スルト云フコト
ハ、往々アルノデアル、是等ハ非常ニ
ドウモ迷惑ヲ此ノ個人ニ及シタ例ガア
リマスシ、又普通ノ事業ニ於テモ然リ
況ヤ斯ウ云フ急場ニ於テ危險ナル仕事
ニ於キマシテハ、就中ドウモ皆保證ニ
ハ躊躇ヲスルト云フコトニナリマスル
ト、自然融資ノ目的ヲ達成スルコトハ
出來マイト思ヒマス、元來是ハ事業ノ
復興ノ爲ニ、國家ガ初カラ危險ヲ冒シ
テ居ルノデアリマスルカラ、必ズシモ
個人ノ保證ヲ要求シテ、爲ニ設立ノ趣
意ヲ減却スルコトガナイヤウニ、個人
ノ保證ハ御求メニナラナイヤウニ、私
ハ切ニ希望致シマス、是ダケノコトヲ
申シマシテ本案ニ贊成ヲ致シマス
○委員長(子爵高橋是賢君) 他ニ御發
言ゴザイマセスカ、今板谷、橋本兩委
員カラ、警告或ハ希望附ノ贊成ノ御意
思ヲ發表ニナリマシタガ、本案ニ對
シテ贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○委員長(子爵高橋是賢君) 全會一致
ト認メマス、ソレデハ本案ハ可決ト決
定致シマシタ、是ニテ散會ヲ致シマ
ス、長々御苦勞様デゴザイマシタ
午後一時五十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵高橋 是賢君
副委員長 男爵杉溪 由言君
委員

侯爵嵯峨 實勝君
伯爵金子 武磨君
子爵水野 勝邦君
子爵稻葉 正凱君
男爵長 基連君

國務大臣

運輸大臣

平塚常次郎君

大藏大臣

石橋 湛山君

政府委員

大藏事務官

三井 武雄君

石炭廳次長

岡松成太郎君

男爵中村 貫之君
男爵村田 保定君
黒田 英雄君
板谷 順助君
石川 一郎君
橋本辰二郎君
野村茂久馬君
名取 和作君
河西豐太郎君
山地土佐太郎君
栗栖 越夫君
大野木秀次郎君

昭和二十一年十一月十三日印刷

昭和二十一年十一月十四日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局